



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
 コード番号 9385 URL <http://www.shoei-corp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 有村 芳文

TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,183	7.7	621	121.8	605	138.5	414	148.5
2020年3月期第2四半期	9,456	9.3	280	0.3	253	4.0	166	2.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 454百万円 (218.7%) 2020年3月期第2四半期 142百万円 (24.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	66.47	
2020年3月期第2四半期	25.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	9,882	3,025	30.6	485.70
2020年3月期	9,037	2,695	29.8	431.81

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,025百万円 2020年3月期 2,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		20.00	20.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,861	9.1	869	38.4	833	31.7	541	33.4	86.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,850,000 株	2020年3月期	6,850,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	621,736 株	2020年3月期	606,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,238,534 株	2020年3月期2Q	6,442,080 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、依然として厳しい状況で推移しております。緊急事態宣言解除後は、政府の経済対策効果により個人消費や企業の生産活動の一部に回復傾向が見られるものの、感染拡大の収束時期の見通しが立たず、依然として先行きが不透明な状況が続いています。また、わが国を取り巻く環境も、足元では国内外ともに経済活動が再開されつつあるものの、感染再拡大が生じている国もあるほか、米中貿易摩擦の長期化など地政学的な問題も生じていることから、世界経済の先行きについてもしばらく不透明な状況が続くものと考えております。

個人消費におきましては、インバウンド需要の消失、緊急事態宣言解除後も外出自粛の要請、テレワークへのシフト継続等の影響により、生活費の負担は増加し、節約意識は高まる傾向にあります。一方で感染予防関連商品や巣ごもり消費関連商品は堅調に推移しており、新しい生活様式への対応から消費者のライフスタイル、消費動向は大きく変化してきております。

当社グループとしては、「人や環境にやさしい商品作りのできる、高収益で成長力のある会社」を目指す上で、従来の事業セグメントである「パッケージ事業」「メディアネットワーク事業」「日用雑貨品事業」を、今期より「営業促進支援事業」「商品販売事業」に変更し、目指す姿に進む戦略を明確にいたしました。「営業促進支援事業」は、お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をさせていただく事業であり、「商品販売事業」は、100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供させていただく事業であります。

当社としては、この2つの事業の製品・商品は親和性が高いものであり、当社がこれまで培ってきた企画力、調達力、商品開発力を活かして、それぞれの事業セグメントに適した商品開発を進めることにおいて、競合他社に対して優位であり、一步リードでき、特に商品開発の「要」は充填セットであると位置付けております。当第2四半期連結累計期間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大や脱プラスチック問題が生じる中、「美と健康、安全、安心な快適生活をサポートする」を目指して対処し、売上面で「営業促進支援事業」では消毒剤、洗浄剤、雑貨品の充填セット売上が前年同期比111.3%増、販促支援の企画提案による仕入品売上が前年同期比4.5%増、「商品販売事業」では100円ショップ向け売上が前年同期比15.6%増、量販店向け売上が前年同期比0.8%増となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,183百万円（前年同期比7.7%増）となりました。利益面につきましては、前第3四半期連結会計期間からタイ子会社の利益が回復したことに加え、業務改善、原材料価格の低下により売上総利益率が改善したことで、営業利益は621百万円（前年同期比121.8%増）、経常利益は605百万円（前年同期比138.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は414百万円（前年同期比148.5%増）となり前年同期に比べ大幅な増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を再編しました。それに伴い、以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（営業促進支援事業）

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をさせていただく事業であります。新型コロナウイルスの感染拡大によって、経済活動の停滞が続いている影響が出ており、各種イベントの中止や延期、販促品キャンペーンの自粛、旅行業界等の観光産業への影響が大きく、封入封緘、物流の売上が落ち込む厳しい状況下でありました。しかし、お客様の商品の販売に対する販促支援を企画から提案する営業形態が徐々に成果を上げてきており、コロナ対策関連商品の受注が好調であったこと、充填セット案件においても、インバウンドの急激な減少により化粧品品の充填は厳しい状況でありましたが、消毒剤のボトル詰め、パウチ、洗濯槽クリーナー剤の充填が好調で、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は5,420百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は522百万円（前年同期比49.1%増）となりました。

（商品販売事業）

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供させていただく事業であります。新型コロナウイルスの感染拡大により、引き続きマスク等衛生用品が好調であったこと、家庭における巣ごもり需要による清掃関係用具、手芸用品の需要が旺盛であったこと、また7月からのレジ袋有料化に伴う手提げ袋、レジ袋、ゴミ袋等が引き続き好調に推移しました。また量販店中心に感染予防関連商品の取引量が拡大したことにより売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は4,760百万円（前年同期比13.1%増）、人件費を中心に販管費が抑えられたことで、セグメント利益は355百万円（前年同期比106.2%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は12百万円（前年同額）、セグメント利益は8百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は9,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ845百万円増加しました。これは主に売上の増加により受取手形及び売掛金や商品及び製品等が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6,857百万円となり、前連結会計年度末に比べ516百万円増加しました。これは主に輸入の決済において手形から振込に変えたことにより支払手形及び買掛金等が減少したものの、短期借入金等が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は3,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ329百万円増加しました。これは主に利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

（当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の影響について）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関して、当社グループの国内外の各事業拠点においては、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、平常時と同水準の稼働率を維持しております。当第2四半期連結累計期間においては、当社グループの業績に重要な影響は及ぼしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	874,423	974,864
受取手形及び売掛金	2,852,506	2,957,922
電子記録債権	331,252	512,699
商品及び製品	1,613,902	1,965,814
仕掛品	173,423	147,493
原材料及び貯蔵品	88,719	116,816
その他	403,504	407,558
貸倒引当金	△1,324	△1,432
流動資産合計	6,336,406	7,081,737
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,125,075	1,125,075
その他 (純額)	839,760	804,653
有形固定資産合計	1,964,835	1,929,728
無形固定資産		
その他	151,659	141,280
無形固定資産合計	151,659	141,280
投資その他の資産		
その他	618,859	764,366
貸倒引当金	△34,221	△34,247
投資その他の資産合計	584,638	730,118
固定資産合計	2,701,133	2,801,128
資産合計	9,037,539	9,882,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,979,579	1,536,890
短期借入金	2,970,000	3,910,000
1年内返済予定の長期借入金	109,300	102,300
未払法人税等	137,684	182,505
未払消費税等	109,155	49,690
賞与引当金	111,393	126,579
その他	315,425	370,683
流動負債合計	5,732,537	6,278,649

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
固定負債		
長期借入金	142,850	92,450
退職給付に係る負債	39,936	39,533
長期未払金	144,212	144,212
その他	282,067	302,977
固定負債合計	609,065	579,173
負債合計	6,341,603	6,857,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	175,478	175,478
利益剰余金	2,358,283	2,648,076
自己株式	△289,380	△289,418
株主資本合計	2,473,780	2,763,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,511	193,894
繰延ヘッジ損益	27,383	5,276
為替換算調整勘定	81,261	62,334
その他の包括利益累計額合計	222,155	261,505
純資産合計	2,695,936	3,025,042
負債純資産合計	9,037,539	9,882,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,456,504	10,183,520
売上原価	7,675,705	8,001,194
売上総利益	1,780,798	2,182,325
販売費及び一般管理費	1,500,558	1,560,857
営業利益	280,239	621,468
営業外収益		
受取利息	97	132
受取配当金	3,454	3,878
為替差益	-	16,054
資材売却収入	2,608	1,854
その他	2,252	683
営業外収益合計	8,414	22,603
営業外費用		
支払利息	21,328	12,982
為替差損	941	-
デリバティブ評価損	5,837	22,349
その他	6,833	3,734
営業外費用合計	34,941	39,066
経常利益	253,712	605,005
特別利益		
固定資産売却益	1,141	-
特別利益合計	1,141	-
特別損失		
固定資産売却損	139	-
固定資産除却損	37	578
特別損失合計	176	578
税金等調整前四半期純利益	254,677	604,427
法人税、住民税及び事業税	76,072	166,918
法人税等調整額	11,743	22,849
法人税等合計	87,816	189,768
四半期純利益	166,861	414,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	166,861	414,659

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	166,861	414,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,000	80,383
繰延ヘッジ損益	4,483	△22,106
為替換算調整勘定	17,101	△18,927
その他の包括利益合計	△24,415	39,349
四半期包括利益	142,445	454,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,445	454,008

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	営業促進 支援事業	商品販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,246,484	4,198,019	9,444,504	12,000	9,456,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	11,277	11,277	-	11,277
計	5,246,484	4,209,297	9,455,782	12,000	9,467,782
セグメント利益	350,650	172,266	522,917	8,535	531,452

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	522,917
「その他」の区分の利益	8,535
セグメント間取引消去	6,820
全社費用(注)	△258,033
四半期連結損益計算書の営業利益	280,239

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	営業促進 支援事業	商品販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,420,917	4,750,602	10,171,520	12,000	10,183,520
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	9,406	9,406	-	9,406
計	5,420,917	4,760,008	10,180,926	12,000	10,192,926
セグメント利益	522,674	355,177	877,851	8,595	886,447

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	877,851
「その他」の区分の利益	8,595
セグメント間取引消去	△187
全社費用(注)	△264,791
四半期連結損益計算書の営業利益	621,468

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2020年4月より事業効率の最適化及び当社の経営管理の実態に合わせ、報告セグメントを従来の「パッケージ事業」、「メディアネットワーク事業」及び「日用雑貨品事業」の3区分から、「営業促進支援事業」及び「商品販売事業」の2区分に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。